

## 発熱は成長のための1ステップ？

お子さんは今までに何回くらい熱を出したことがあるのでしょうか？子どもは成長する過程で、さまざまな発熱性の病気にかかります。風邪といわれる病気一つとりあげてもよく知られているのだけでも200種類以上あり、さらに名前の知られていないウイルスなどを含めると2000種類以上あると言われます。その一つ一つが、熱がでたり咳がでたり鼻水がでるといわけではありませんが、赤ちゃんが3ヶ月をすぎる頃から色々な発熱性の病気にかかります。

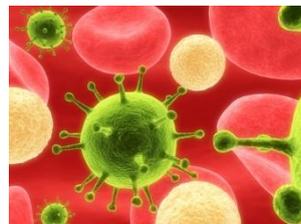


### 【発熱の原因】

発熱の原因は様々、考えられる病気として・・・

1. 急性上気道炎
2. 急性扁桃炎
3. 急性胃腸炎
4. 溶連菌感染症
5. 急性中耳炎
6. 肺炎
7. 尿路感染症
8. 風疹
9. 水痘
10. 突発性発疹
11. 麻疹
12. ヘルパンギーナ
13. ヘルペス性口内炎
14. おたふくかぜ
15. 伝染性紅斑
16. その他

これらの約6割ほどがいわゆる風邪と呼ばれる急性上気道炎です。その中には200種類以上のウイルスがあることが知られており、大人になるまでにこれら一つ一つにかかって免疫をつけていくといっても過言ではありません。よく「うちの子は熱ばかり出している」と言われるお母さんもおりますが、見方によっては、成長のための1ステップと割り切った方がいいのかもしれない。又、麻疹のように予防接種で防ぐことができるものもあります。



### 【3ヶ月未満の発熱】

赤ちゃんはお母さんからお腹の中にいる時に色々な病気に対する免疫の抗体をもらって生れてきます。お母さんは今までの生活の中でさまざまな発熱性疾患にかかっておられますので、多くの場合、赤ちゃんはその抗体をもらっているため、3ヶ月までに熱を出すことはほとんどありません。ですから、3ヶ月までに38℃以上の熱がでた場合には風邪以外のことを考えなければなりませんので、医療機関を受診して下さい。特に生後1ヶ月までに熱を出すようなことがあれば、赤ちゃんにとって重篤な感染症（敗血症や細菌性髄膜炎）が考えられますので、たとえ元気が悪くなくても必ず受診して下さい。

### 【風邪は万病の元】

子どもの発熱は多くが風邪や胃腸炎にともなうものが多いですが、中には重篤な感染の前兆としてくることがあります。風邪は万病の元という諺は風邪をこじらすと悪い病気になるという意味ではなくて、すべての病気の初期症状は風邪の症状ににているという意味だと言われています。風邪だからそのうちに熱が下がると安心しないで、普段と様子が少しでも違うようなら、早めに医療機関を受診するようにしましょう。

子どもはその日元気に過ごしていても夜から急に発熱することは多々あります。普段から、突発的な発熱、風邪症状、胃腸症状に対処するために、市販薬を一応そろえて置くことも必要ではないでしょうか。